

第3回 JSAM 鍼灸国際シンポジウム －頭痛に対する鍼灸のエビデンス－

プログラム

1日目 2012年6月7日(木)

10:00-12:00

プレシンポジウム：日本独特の鍼灸手技

司会：仲野彌和、高澤直美

講演者

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 10:00-10:15 | 北川美千代
日本の鍼灸業態の特徴 |
| 10:15-10:30 | 石崎直人
日本の鍼灸受療患者の特徴 |
| 10:30-10:45 | 形井秀一
経絡治療の現状と実際 |
| 10:45-11:00 | 鈴木 信
小児鍼の歴史と実際 |
| 11:00-11:15 | 坂井友実
現代医学的発想にもとづく鍼灸 |
| 11:15-11:30 | Steven Birch
欧州における日本鍼灸 |
| 11:30-12:00 | ディスカッション (30分) |

12:00-13:00 昼食

13:00-13:15 開会式

開会の辞 社団法人 全日本鍼灸学会 会長 後藤修司
国民のための鍼灸医療推進機構 代表 仲野彌和
招待講演者紹介

13:15-15:15

セッション 1: 頭痛の診断治療と鍼灸治療に関するレビュー

司会：山口 智、若山育郎

シンポジスト

- 13:15-13:45 坂井文彦
一 次性頭痛の分類と治療の最前線
- 13:45-14:15 五十嵐久佳
日本における頭痛診療の実態—どのような患者が頭痛外来を受診し、何が求められるか—
- 14:15-14:35 Byung-Cheul Shin
韓国における頭痛の鍼治療：診療の実際と臨床試験
- 14:35-14:55 鈴木真理
医科大学病院における慢性頭痛に対する鍼治療効果
- 14:55-15:15 ディスカッション (20分)
-

15:15-15:30 コーヒーブレイク

15:30-17:30

セッション 2: 頭痛に対する鍼治療の臨床試験と症例集積

司会：Stephen Birch、小俣 浩

シンポジスト

- 15:30-15:50 Benno Brinkhaus
片頭痛と緊張型頭痛患者に対する鍼治療—鍼治療の日常臨床研究 (ARC)、2 つの鍼治療のランダム化試験 (ART) の結果と総合的エビデンス
- 15:50-16:10 Myeong-Soo Lee
頭痛および片頭痛に対する鍼治療—システムティックレビューの概要—
- 16:10-16:30 菊池友和
一 次性頭痛に対する鍼治療の基礎研究
- 16:30-17:30 ディスカッション (60分)
-

2日目 2012年6月8日(金)

9:00-11:30

セッション 3: 鍼灸の臨床試験の課題

司会 : Myeong-Soo Lee、山下 仁
シンポジスト

- 9:00-9:15 増山祥子
日本の鍼灸臨床試験の概要
- 9:15-9:35 Benno Brinkhaus
鍼臨床試験の研究方法論—プライマリ・リサーチクエスチョンに応じた研究デザイン及び対照群の選択
- 9:35-9:55 金子泰久
スポーツ分野における円皮鍼の効果
- 9:55-10:15 川喜田健司
鍼臨床試験で用いられてきた各種シャム鍼刺激の持つ生理活性のメカニズムについて
- 10:15-10:35 Stephen Birch
シャム鍼はプラセボ治療ではない—その意味と研究における課題—
- 10:35-11:30 ディスカッション (55分)
-

11:30-11:40 閉会式

閉会の辞 シンポジウム会長 後藤修司
招待講演者代表 Stephen Birch



3-44-14, Minami-otsuka, Toshima-ku, Tokyo 170-0005, Japan
tel: +81-3-3985-6188, fax: +81-3-3985-6135, e-mail: honbu@jsam.jp,

<http://www.jsam.jp/>